

●AKAYAプロジェクト

利根川上流・三国山地から流れる赤 谷川流域に広がる国有林「赤谷の森」 の生物多様性を官民の協働で修復す る、長期にわたる地域環境管理の全 国モデルプロジェクトです。2006 年度は調査研究エリアとしての機能 向上と、人工林を自然林に修復する 試験地設定を進め、治山ダムによっ て分断された渓流環境修復のため、 治山ダムを取り除く基本方針を定め ました。

2007 活動リポート

006年度の主な成果

あなたのご寄付やご支援で 2006年度、NACS-Jは 全国でこのような自然保護活動ができました!

●自然しらべ2006

2006年度は、仮面ライダーを 探せ!と呼びかけて「バッタ」 をテーマに、企業協賛((株)サ ニクリーン)をいただいて実施 しました。のべ3322名、902 地点の情報が寄せられました。 多かったのはオンブバッタとシ ョウリョウバッタ。一方、カワ ラバッタはとても少なかったと いう結果になりました。



●戦略的保全地域情報 システム (SISPA)

NACS-Jと(財)自然保護助成基金は共 同で、GISを活用した全国の自然保護に 関する情報の共有化と、戦略的な自然保 護を進めるための「戦略的保全地域情報 システム (SISPA)」の構築を行いまし た。2006年度は全国の特定植物群落の うち国立・国定・県立自然公園によって 法的に守られていた地域は61%であり、 地域別では沖縄のように34.4%と極めて 低い地域もあることが分かりました。



●市民参加の海岸植物群落調査

2003年から3年間で、1000人以上が調査に参加 し、36道府県1251件の海岸の自然環境に関する調 査結果が集まりました。調査結果からは、護岸建設 など海岸の人工化や踏みつけや車の乗り入れなどに よる影響で、植物群落の生育地が狭められている実 態が明らかになりました。今年度は、詳細なデータ の解析をし、保全の提言を行います。



市民参加の里やま保全・ モニタリングサイト1000

里やまなど身近な自然のモニタリングを市民と専門家 が協力して実施し、その結果を生かして保全を進める ことを目指しています。2006年3月には調査の学習 会を開催しました。また「モニタリングサイト1000 里地調査」では、全国共通の調査マニュアルを作成し、 全国6カ所のコアサイトで植物や鳥類など9項目の調 査を実施しました。

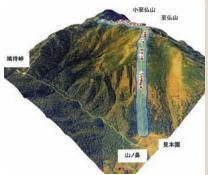
●小笠原諸島の保全

小笠原諸島にしか存在しない重要な生態系を守るた め、林野庁と協働し、小笠原全面積の6割を占める 国有林全域を生態系保護地域に指定する事業を行っ てきました。その結果、一般的な国有林の99%以上 (約5600ha) を保護林とすることが決定しました。 南島では、利用が行われている自然観察路周辺につ いて植生と微地形の変化をモニタリングし、保護と 適正な利用のための提言を行いました。また、適切 な外来種除去事業に向けた開花状況調査などの基礎 調査を実施しました。



●尾瀬プロジェクト

2006年度の成果は、①至仏山の特異な生 態系と、保護方法の科学的根拠を初めて報 告書として公表(頒布中)。②この根拠で荒廃 が進む東面登山道の登りのみ利用を原則化、 利用者の密度管理の必要性を提案、基本を 合意。③尾瀬国立公園の会津側への拡大と、 拡大指定前に脆弱な湿原などへの予防的保 護対策実施を提案。関連団体、メディアな どと協力し、今年度も対策の実現のための 働きかけを続けます。







NACS-J自然観察指導員

指導員養成講習会を16回開催、791名の 新指導員が誕生。また4回のネイチュア・フ ィーリング研修会など合計6回のフォローア ップ研修会も開催しました。ネイチュア・ フィーリング研修会は1989年開始以来21 回目を迎え、プログラムをリニューアルし ました。



国際的な自然保護活動への参画

IUCN(国際自然保護連合)日本委員会の事務局を 運営しています。国際会議の出席などを通じて情 報収集し、連続セミナーと国際シンポジウム「生 物多様性条約 世界と日本を結ぶ国家戦略をめざ して」を開催(約200名参加)。生物多様性保全 に関する国際動向の情報収集を生かし、国内の自 然保護政策への働きかけを行っています。

●プロ・ナトゥーラ・ ファンド

第15期(2004年度)助成成果書を発行 するとともに、第16期(2005年度)の 助成成果発表会を東京で開催し、120人を 超える参加がありました。また2006年 10月から第17期助成事業として国内助成 20件、海外助成6件、合計2535万円の資 金援助を行っています。(財)自然保護助成 基金との共同事業です。



河川生態系の保全

長良川における河口堰問題(三重)、天塩川 におけるサンルダム問題 (北海道)、川辺川 ダム問題(熊本)など、河川構築物が河川生 態系に及ぼす影響について、研究、意見書の 提出、モニタリングを行いました。引き続き 活動を行い、行政や社会に対する、河川環境 管理のあり方の提言につなげていきます。



●野生生物保護・ 生物多様性国家戦略 への働きかけ

市民提案による野生生物保護 基本法の制定など、自然保護 の法制度の制定・改正に向け た監視・働きかけを行ってい ます。生物多様性国家戦略の 見直しでは、具体的な保全施 策が展開される枠組みを提案 しました。国内で確認された カエルツボカビ症について関 係団体と緊急声明を出し、横 断的な対応を求めました。



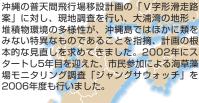
リアルネイチャー・ セミナー/キャンプ

「自然を守る仕事に就きたい学生」 「CSR (企業の社会的責任) で生 物多様性保全に取り組みたい企業 人」「生きものが苦手な母親」向 けにセミナーを実施、会員拡大と 協力者拡大に役立ちました。また AKAYAプロジェクトエリアでの キャンプでは、会員の方々のほか、 これまでNACS-Jを支援してくだ さっていた方々に、支援の成果の現 場をお見せすることができました。



●辺野古・大浦湾海域の サンゴ礁生態系保全

堆積物環境の多様性が、沖縄島ではほかに類を みない特異なものであることを指摘、計画の根 本的な見直しを求めてきました。2002年にス タートし5年目を迎えた、市民参加による海草藻 場モニタリング調査「ジャングサウォッチ」を



●泡瀬干潟の保全

2003年夏からの2年間の調査結果をまとめ た泡瀬干潟自然環境調査報告書「埋立事業が 泡瀬干潟に与える影響と保全の提言」を発行 しました。事業者である国と県、地元沖縄市、 環境監視委員会など関係各所に配布し、泡瀬 干潟の自然を生かしたまちづくりの提案を継 続して行っています。



●綾の照葉樹林プロジェクト

宮崎県綾町に広がる約1万haの照葉樹林プロジェ クトエリア内で、2006年度は人工林や二次林の 中にモニタリングサイトを設定し、実生・稚樹の 分布状況などの林床植生についてのデータを取り、 科学的な観点から具体的な間伐方法について助言 をしました。また、間伐前にボランティアによる 市民参加のモニタリング調査を実施し、市民が自 ら間伐による効果を見続けることができるように



古野川 ふれあい

●ふれあい調査

地域における人と自然とのふれあいを把 握するための調査手法を検討し、仮マニ ュアルを作成。徳島市・吉野川河口でふ れあい調査を開始し、地元の人たちが参 加してのふれあいマップ調査懇談会をス タートしました。吉野川と人々とのふれ あいを明らかにし、地域での自然保護や 開発を検討するときに、さまざまな立場 の人たちが共有できる資料(マップ)づ くりを目指します。

NACS-J 収支決算リポート (2006年4月1日~2007年3月31日)

NACS-Jの活動の財政基盤は、半分近くが会費とご寄付に支えられています。 それらをもとに、年支出の約8割を自然保護活動に、約2割を組織の運営に役立たせていただいています。

■ NGOの活動に見合った 収支運営を目指して

地域に根差したNACS-Jらしい自然保護活動を進 めるために、より幅広い支援の獲得、活動テーマ に見合った資金源の確保、収入状況に合わせた効 果的な支出などにより、安定した財政基盤づくり を目指し、収支均衡の予算計画を基本として運営 しています。

その結果、2006年度は、約3億1000万円の収入に 対し、約2億9000万円の支出があり、差額の約2000 万円は次年度に繰り越しました。

■ 6000人を超える アクションサポーターに支えられて

また、NACS-Jの活動は、大量の事務作業をお手 伝いいただく、現地でしか分からない貴重な情報 を寄せていただく、セミナー・シンポジウムなど の運営をサポートいただく、自然観察会などで入 会案内のパンフレットを配っていただく、専門的 なノウハウや所有の施設を無償あるいは安価でご 提供いただくなど、アクションサポーターの皆さ まがさまざまなボランティアワークを快く引き受 けてくださるからこそ、会計報告には表れない、 予算規模以上の取り組みができています。

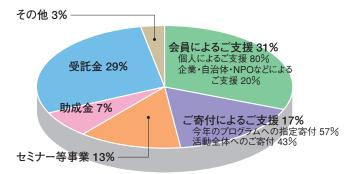
■ ご寄付くださった皆さまへ

ご寄付は、NACS-Jにとって、自立性・独自性の 発揮に欠かせない活動資金です。そうした趣旨を ご理解いただいたご支援に日々支えられているこ とに、心より感謝いたします。最近は、仕事やサ ークル活動などの中で、募金キャンペーンを実施 されるケースも増えつつあります。周りの人を巻 き込みながら、無理のないペースで自ら楽しんで いらっしゃる方々の声が、事務局に寄せられてい ます。今年度も、前ページにご紹介したプログラ ムの目標達成に向けて、ぜひご協力をお願いいた します。

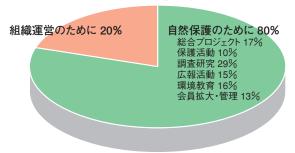
■ 会員の皆さまへ

自然や生きものを相手にした取り組みは、そも そも長い時間がかかるので、毎年一定の金額によ りご支援くださることは、財政基盤の安定につな がり、活動計画も立てやすくなります。そして何 よりも、ずっと変わらず応援してくださるお気持 ちほど、NACS-Jにとってありがたいことはありま せん。ぜひ、今年度もご支援をお願いいたします。

●2006年度の収入・支出割合



2006年度収入



2006年度支出

●2006年度決算と2007年度予算

(単位:千円)

科 目	2005年度決算	2006年度決算	2007年度予算	%1
当期収入合計	287,307	309,747	359,600	
会費収入	94,995	95,109	94,400	
寄付金収入	31,863	54,049	57,100	
事業収入	41,668	41,763	43,400	
助成金収入	22,980	20,400	34,900	
受託金収入	62,753	89,457	91,000	
特定預金取崩ほか	33,048	8,969	38,800	
当期支出合計	270,240	289,229	359,600	
総合プロジェクト事業費	42,111	39,036	58,970	% 2
保護活動費	19,857	23,820	24,950	% 2
調査研究費	52,506	67,489	105,420	% 2
広報事業費	27,493	34,505	50,350	
環境教育事業費	35,038	35,469	37,580	
会員事業費	29,578	31,075	30,310	
管理費ほか	63,657	57,835	52,020	% 3

(2007年3月27日理事会にて2007年度事業計画・予算議決、2007年5月30日理事会に て2006年度事業報告・決算承認)

- ※1 固定資産の運用などにかかわる収支の動きは除きました。
- ※2 総合プロジェクト事業費、保護活動費、調査研究費には、それぞれ受託事業費 が含まれています。なお、受託事業費の合計は、受託金収入と同額です。
- ※3 2005年度は、事務局オフィスの移転を行ったため、例年より管理費が増加して います
- なお、決算および予算の詳細は、ホームページをご覧ください。

導員有志・大岩正起・大内紘三・大内政義 蛯名一成・遠藤浩一・遠藤とみ子・遠藤 博 朗・㈱エコエナジー・NTTデータ通信㈱

子:小林喜美男:小林景子:小林 進:小林大

2006年度寄付サポーター 863人 総額5404万9410円

ありがとう ございました *

晃‧内田房子‧内野 恵‧内村満紀‧内山 博‧ 進・上東まど香・植山敬子・魚津信夫・請地 倉 進·入野俊夫·岩尾淳子·岩城秀弥·岩野 文夫·居山昭子·伊豫田照彬·入江洋明·入 久 · 井上千春 · 井上淑惠 · 井上弘郷 · 井上雄 命保険会社・荒金泰子・荒川日出子・安斎富 雄・アフラック日本社社員厚生会・阿部 治・ 立由美子・足立嘉子・厚谷マリ子・穴沢利 司・浅野政栄・浅野 亘・浅見裕樹・アジレン 山裕一・㈱アクセンス・テクノロジー・浅井聡 宇野木早苗・梅村幹雄・浦川真佐郎・瓜生勝 嘉明・後木建一・臼木富雄・内城葉子・内田 っちぃずぷろじぇくと・上馬康生・植木憲 翠・岩間香宝・岩本清吉・㈱イングス・うぃ 次・井上百合子・今関廣子・今堀宏子・今本 伊東幸雄・伊藤忠商事㈱・稲垣克巳・稲葉嘉 泰正・板垣 悟・市川 実・伊東昭代・伊藤英 子:石垣千鶴子:石川茂夫:石田貞子:石橋 ア・ネット・池川喜由・池口康雄・池田 卓・ 士子・飯塚紘一・飯塚友康・ e-ボランティ 阿部 武・阿部幸雄・アメリカンファミリー生 ト・テクノロジー㈱・麻生 泉・安達厚三・足 佳・秋田あや子・秋田恵美子・秋山和喜・秋 赤木径子・赤沢美恵子・赤羽ユリ・秋岡里 森県自然観察指導員連絡会有志・赤池宗治 トシ・青木登志夫・青木雄司・青戸省二・青 ョン・相原信三・青木啓子・青木妙子・青木 二.伊東 要.伊藤総平.伊藤裕志.伊藤 恵. 池田久浩・池田芙美子・池竹則夫・石井秀 NPO法人アースデイマネー・アソシエーシ 一.上田夕希子.上野敬子.上野雄二.植原 | 浩・石森良房・泉沢岑生・礒村シナ・磯村

澤敬子·小田邦矩·小野知洋·小野木三郎 ツーリズム横浜旅行センター・倉持芳郎・栗 木村直代・木村光治・木村恭子・清沢文人・ 北野信久・北村悦子・北村伸悦・吉川久子 幸・岸 しげみ・岸 勉・木下 進・北園裕子・ 敦子‧木内直子‧菊田 穣‧菊地栄子‧菊地眞 功・川嶋正勝・川田三郎・河端祥朗・川南 朗・川北秀人・川崎富子・河崎行繁・川島 弘和・亀江直樹・亀崎敬介・亀田智佐・鴨下 画会・小久保薫子・小阪隆子・小柴淑子・小 田道雄・河野禎子・河野純子・神山智美・国 美佐子・高坂利一・郷司信義・幸田辰雄・光 河朝明‧劔持 叡‧小池徹夫‧小泉恵子‧小泉 林淳子・栗原祐子・グループ 21・桑原 信・源 保・熊崎 勇・熊代昌二・組頭五十夫・クラブ 淳子・久保 隆・久保木達典・窪田幸代・熊切 士・草野恭子・具志堅正子・工藤勝政・工藤 桐原三弥・九鬼とも子・久古直子・草刈秀 木下まり・木原忠男・木原奉文・木村輝佳・ リーナ研究機構NGOアリーナ運営部・神林 仁・川本純子・河本正徳・NPO法人環境ア 拙夫・川井 猛・河合 斌・河井正美・川勝史 知子·唐沢良子·苅谷雅充·河合明宣·河合 省司·神谷敏郎·神谷有二·神山和彦·亀井 淳子.金城美代.鎌滝正美.上沢忠人.神谷 スタ実行委員会・金子久子・金子博子・兼城 幸子・金口重生・金山陽子・可児市環境フェ 満子·加藤健二·加藤晃樹·加藤俊哉·加藤 強・勝山鍈之・賀登 環・加藤和男・加藤公 夫·鹿島明子·片岡伸吾·片岡宣彦·片所 ㈱・加川晶子・柿嶋和子・葛西幸枝・笠原忠 小見寺公一・オムロン㈱・開発法子・花王 小畑徳彦・小原隆史・小尾恒夫・小尾正人・ 啓子‧尾坂知江子‧小山内 司‧小澤君子‧小 野 新‧奥野征代‧奥村隆史‧奥村陽子‧小倉 哲‧奥 貴史‧町立奥出雲病院‧奥島仁志‧奥 治作・小川俊一・小川正子・小川洋子・小木 明:小亀真知子:岡本亨二:岡本初生:小川 立矢作中学校・岡田剛次・岡野竹義・岡野弘 子‧岡 征四郎‧岡 陽子‧岡崎和子‧岡崎市 子·大野康子·大原長英·大牟田一美·大谷 鶴子・大塚雅代・大塚康信・大槻美次・大西 城 猛・大城正市・大隅一志、陽子・太田廳 小中由紀子・小西 茂・小西民人・小林恵美 藤清美・後藤賢一郎・五藤孝子・琴岡康二・ 島弘之・小関幸子・古平明尚・後藤勝彦・後 いづみ・大藪まさ子・大山雅司・大和田昍 史男・大貫はるみ・大野久良夫・大野佐知 子·太田俊博·太田尚子·大谷勝己·大谷多 秀行・大澤ひな子・大澤雅彦・大島三絵・大 大久保多加男・大熊義夫・大越みち子・大澤

津昭一・高野友美・高橋昭雄・高橋シヅ・高㈱・㈱田上財務経営センター・互井賢二・高 千々岩 哲・茅野恒秀・千葉 晋・千葉勇人 奈· 高橋基子· 高橋洋一· 田上 中· 滝石有 鈴木洋子・須藤朝宗・寸田英利・清田保之・ 引所・荘司たか志・定直暢夫・白鳥邦夫・城 邊盛光・谷村和彦・田上利男・田宮公成・田 里·忠地千代美·立岡英宏·田中郁子·田中 竹村真美・多胡則之・田島清利・田島由香 代美・竹田喜美子・竹原余史丸・武馬吉則・ 男・宅見孝子・武内恭子・竹内陽子・竹口千 紀・滝川 潔・滝沢博明・瀧島真理子・田口松 橋祥子・髙橋徹哉・高橋まり子・高橋美 ㈱・醍醐サチ子・平 利二・大和ハウス工業 谷登希雄・損保ジャパン環境財団・第一製薬 校・仙波一平・千本木憲吉・曽我日出夫・祖 清野浩志.瀬田康子.仙台市立八乙女中学 木道子・鈴木光子・鈴木美穂子・鈴木保雄・ 鈴木 徹・鈴木紀子・鈴木昌子・鈴木正規・鈴 鈴木和征・鈴木勝太・鈴木邦宏・鈴木茂男・ 杉山弘信・鈴木明美・鈴木郁子・鈴木逸郎・ 鋤柄慎吾・杉本玄海・杉森広海・杉山惠一・ 沼正子・菅原るり子・杉江千月・杉江智子・ 業所・シンワ㈱四日市営業所・菅井良幸・菅 営業所・シンワ㈱仙台支店・シンワ㈱長野営 山営業所・シンワ㈱札幌支店・シンワ㈱静岡 間健男・新宅英夫・神保恵美子・シンワ㈱岡 下村光子・下和田 実・㈱ジャスダック証券取 志村永久・下江聡美・下田和広・下村恒也・ 清水雅典.清水義雄.清水好美.志村智子. 嶋田幸男・清水明子・清水和男・清水恵子・ 島尾友香・島津幸枝・島田敏子・島田裕史・ 力—会·(財)自然保護助成基金·柴山裕子· 会・自然体験学習を推進するアウトドアメー 市場・雫石正男・自然観察指導員長野県連絡 くらぶ(有)・塩田正子・塩原ゆかり・色彩 ーン・澤田敏生・沢田佳久・ジェーシーアイ 佐藤正美・佐藤正嘉・眞田博子・㈱サニクリ 佐竹誠也·佐藤健一·佐藤真一·佐藤崇倫· 木陽子・佐々倉洋一・笹子重治・笹沼智子・ 佐々木敏子・佐々木とみ・佐々木康弘・佐々 井幸枝・笹 輝美・佐々木久弥・笹木智恵子・ 信一·相楽悦男·崎川栄治·佐久間憲生·櫻 清光・境野 寿・榊 久美子・坂間壽子・坂本 子‧酒井秀明‧酒井博史‧酒井三千三‧堺沢 幸男‧斎藤幹夫‧佐伯雅子‧坂井 厚‧酒井道 彦・西條恭子・斉藤慶一・齋藤けさよ・斉藤 俊作・近藤忠男・近藤 仁・近藤芙蓉・近藤雅 郎・小松原るな・五味多恵・金光慶子・近藤 ㈱ボランティア基金・富士ゼロックス端数倶 福本圭史‧藤 淑恵‧藤井憲男‧藤井康隆‧藤 田位子・福田まり子・福田資子・福永幸司 深見 弘‧吹上一博‧福島 努‧福島亮一‧福 フェアネスクリエイション・㈱フェリシモ・ 山政昭・広島クライスラー㈱・廣瀬光子・㈱ 并祐二·藤木順子·藤﨑英喜·藤沢浩憲·富 -ビス㈱・富士ゼロックスシステムサービス -ゼロックス㈱・富士ゼロックスシステムサ

中村桃子・中村雄二・中村良二・中山一藏・中村征子・中村忠士・中村俊治・中村光敏・ 和美・久徳 照・久光幸子・菱山 滋・七宗町 敏弘・林 信夫・林 義隆・林田文子・原 信ンター・バモスの会・林 金次郎・林 但・林 馬場良子・羽生匡夫・パブリックリソースセ 美佐緒・(有)花押や・羽田義任・馬場由美子・ 己・長谷川 博・波谷百合子・服部 友・花岡 橋本恵治・橋本賢次・長谷川和史・長谷川克 男 . 橋 幸子 . 橋浦敬子 . 橋爪隆弘 . 橋本 清 . 昌子・萩野 隆・箱崎プラント工業㈱・間 信 ネオナチュラル・根岸真理・野川和三・野村 藤田芳榮様遺贈寄付の遺言執行者)・ニュー 定非営利活動法人日本生前契約等決済機構(故 百合子・西廣政雄・西村照雄・西脇留治・特 輪美香・成久 武・南高祭運営委員会チャリテ 中山 知‧中山賀央‧仲山隆一‧名執義高‧波 宗永・中村恵美子・中村和子・中村佐代子・ 光子・中野和代・中野葉子・中部喜和・中溝 香·中嶋守男·中田和子·中田順士·仲田由 亜希子・富澤 清・富田泰章・㈱富永・トヨタ良治・徳冨秀樹・得納幸史・土沼義夫・主海 政明・寺本和子・照屋久子・土井敏彦・藤 美 市立西中学校・(有)テクノフィールド・寺島 恒・土橋秀行・土屋俊幸・筒井和光・鶴ヶ島 千葉雅弘・㈱チャリティプラス・塚原睦子・ 井敬治·平島長生·平田克紀·平野公子·平 豐.日比野祐久.姫田浩代.平井大史郎.平 立上麻生中学校・日向 朗・日野 東・日比 子·原田真由美·原田良玄·飯開秀昭·東山 ズ・ブロードキャスティング・ジャパン㈱・㈱ 堂 忠・㈱ニコン・西内洋二・西浦由美・西谷 イ―部・南場 哲・南部守成・新倉 毅・二階 岡貞子・並木孝之・浪瀬誠治・楢原 蓁・奈艮 雄·中谷眞砂子·中塚栄一·中塚 隆雄·長沼 島加寿子・中島小夜子・中島健雄・長島美 中川キヨ子・中川 健・中川 元・中静 透・中 自動車㈱・虎谷 健・鳥居 進・鳥山由子・内 会・㈱東芝・道正健太郎・塔野岡純子・時津 紀子・刀 光夫・東京リサイクル運動市民の 津久井正幸・津久井安子・津坂幸三郎・辻 邦 藤誠一・中井節子・長尾商事㈱・中鍵貴之・

子·森嶋剛史·森田正男·森野俊子·森本言 野 仙·吉村雅子·米谷堅光·利府町立利府西 田眞人·吉田正人·吉田 勝·吉田満洲男·芳 岡陽子·吉國正郎·吉澤義幸·吉田啓子·吉 横山隆一・吉居 清・吉居博文・吉岡政和・吉 山本隆昭・山本 曻・由比 進・結城キミ子・湯 とし子・山ノ下眞子・山本英司・山本勝久 望:山崎邦子・山﨑景三・山下明美・山下喜 也‧柳沼孝子‧矢嶋 悟‧安井啓子‧安井宏 代‧森 美智子‧森 泰規‧森 芳昭‧盛岡市立 世‧村山昌子‧目羅敬一‧茂又述史‧森 照 正己・村田 栄・村田 悟・村松真衣・村山史 照等・村杉幸子・村杉久子・村瀬貴典・村瀬 惺・村岡榮子・村上恵司・村上さよ子・村嶋 らい環境創造研究所・㈱ムサシノ建設・武藤 校‧峯岸一郎‧峯岸徹也‧宮 真理子‧宮内和 千春·渡辺輝吉·渡部直衛·渡邊啓文·渡辺 子‧脇本秀行‧和久田 均‧和田茂幸‧和田晴 中学校・㈱口ペライオ・和歌和男・若井泰 横松榮一・横山 泉・横山賢治・横山真奈美・ 川百合子・横尾教之・横田和男・横田久代 代子・山城秀之・山田あき・山田暁子・山田 冨士江・山岸修子・山口育子・山口 健・山口 一・屋部博嗣・山尾あゆみ・山尾次良・山岡 枝.谷中美穂・柳澤愛子・簗取圭子・矢作英 松園中学校・盛岡市立下橋中学校・森島惠 ゆり・宮原節子・宮原恒雄・宮本美織・㈱み 校・宮崎安代・宮下千尋・宮田達郎・宮原さ 雄.宮木昭二.宮木良博.宮古市立第一中学 二千男・湊 清・横浜市立みなと総合高等学 田信博・三谷 清・道蔦静子・三戸幸久・緑川 谷 覚・水野恵美子・水野信彦・水野玲二・三 丸山芳子・三浦 敦・三浦須美・三川博文・水 間宮八枝・丸谷久也・丸山和夫・丸山祐子・ 本逸朗・㈱松屋・真鍋広記・まほろば基金・ 尚子・松村一義・松村たか子・松村真弓・松 尾 信・松岡光平・松川桂子・松島 大・松戸 永望美・松明恒富・松浦初子・松浦秀樹・松 村典子・牧野立子・増井達也・升田元行・増 生徒会・前田常雄・前田保彦・前田良子・前 三智子・堀川順一・堀川美穂・堀越高等学校 野久子・星野隆司・細田凱子・堀田完爾・堀 別府市民間社会福祉施設連絡会・保坂 誠・星 桑北中学校・渕田 京・ブックセンター名豊・ 光悠紀子・藤本直子・藤本康弘・扶桑町立扶 楽部・藤田あや子・藤田和子・藤田正文・藤 清津川を守る会・風呂田利夫・不破佐和子・ breeze&trees Ltd・降幡光宏・ふるさとの 一.安岡吉一.安田 守.安野眞二.安元和

(5)音順・敬称略/掲載を希望されなかった方は除かせていただいています)